

令和4年度事業報告

令和4年度も、新型コロナウイルスの感染症対策として、各校合同の学園祭中止や高校生の修学旅行先を当初より変更するなど、学生・生徒の感染防止に努めながらの学校運営に引き続き努めた。

また、令和4年度入学生は、専門学校の介護福祉学科に17名の留学生を受入れたが、柔道整復学科も含めて計62名であり前年度入学生を下回ったほか、大川学園高等学校・高等専修学校も80名の定員に対し59名と、大幅に下回り今後の経営基盤に不安を残す結果であった。

少子化問題だけではなく、数年続いているコロナ渦での経済的影響がより増しており、学生・生徒の確保がさらに厳しくなっている。

事業報告の詳細については、下記の通りとなる。

1. 法人本部

事業計画における目標として「経営基盤強化」を掲げ、コスト削減を図りながらも人材への能力向上へ投資するなど積極的に取り組んだ。しかしながら、今後、令和4年度入学者数が大幅に下回ったことや修繕費等の増加を考えると、さらなる削減策や募集活動の強化が必要である。

令和4年度事業報告として

- (1) SDGsの一環としてペーパーレス化(実際には紙の使用量の減少)を図った。
- (2) 教職員の能力、技能の向上のため外部研修への参加(オンライン研修含む)を推進した。
- (3) 令和3年度に続き、教職員が柔道整復学科教員資格及び高校商業教員免許を取得するなど、着実に人材の能力向上と効率化は進んできた。
- (4) 教育支援推進室における留学生の日本語教育の充実、施設との関係強化に努め、留学生の確保に繋がった。
- (5) 広報活動の強化のため、関連部署が連携体制に努め活動したが結果に結びつかず、更なる体制改革を図る必要がある。

2. 大川学園高等学校・大川学園高等専修学校

教育内容は充実したが、募集活動とその結果に大きな課題が残った。

重点目標1 求める生徒像を明確にし、定員確保に向けた募集活動

- (1) 求める生徒像「伸びしろ」を大きくしたい生徒の確保に努めた。
- (2) 中学校教員等に「大川のよさ(面倒見が良い、成長させてくれる)」が届く募集活動の推進に努めた。
- (3) 出前授業促進プロジェクトへの依頼の定着と依頼校の増加に努めた。

重点目標 2 確実な情報連携のある生徒指導

- (1) 課題を抱えた生徒への手厚い指導・支援の継続に取り組んだ。
- (2) カウンセラー等との連携した指導・支援に努めた。
- (3) チャイム着席の徹底に課題が残った。

重点目標 3 プラスワンの職務行動で教育力アップ

- (1) ステップ・アップ講座へ生徒が継続的に参加するよう取り組んだが課題が残った。
- (2) SDM（慶應義塾大学大学院と連携）、モルック授業（モルック協会と連携）、駿河台大学との連携（学生ボランティア等）、ミュージカル教育など、特色ある授業の推進に取り組んだ。
- (3) 社会福祉・介護福祉検定で2級合格者を出した。

3. 大川学園医療福祉専門学校

令和4年度も新型コロナウイルス感染症による影響により、学生の実習内容変更や学園祭中止等の影響があったが、「地域における医療・介護に携わる一員として活躍できる人材育成」を理念に掲げ、学生指導、学生募集活動、附帯教育活動等に取り組み、令和4年度の国家試験現役日本人合格率は柔道整復師89%、介護福祉士100%、介護福祉学科の留学生85%（20名中17名が合格）とよい結果となった。また、就職状況は、両学科とも就職指導の効果もあり、殆どの学生が就職先を決定した。学生指導等の報告は以下の通りである。

(1) 学生指導

昨年度同様、学校全体として新型コロナウイルス感染症予防対策に取り組み、1年を通じて対面授業を継続することが出来た。また、両学科とも国家試験に向けて、対策講座や補講を行い全員合格に向けて取り組んだ。就職指導においては、コロナ渦の規制もあり、昨年同様、施設や企業の担当者を招いて実施する job カフェは中止となったが、就職ガイダンスは実施した。個々の学生も就職活動に積極的に取り組み、特に介護福祉学科卒業生の就職決定率は100%を達成した。また、日本語講師による留学生指導はコロナ渦の影響も多少受けたが、多くの日本語検定合格者を出した。

(2) 学生募集

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じてのオープンキャンパスの開催、高等学校訪問・治療院訪問・卒業生訪問・会場ガイダンス参加等を実施した。また、大川学園高等学校への出前授業及び内部進学講座を実施した。令和5年度の入学者数は、柔道整復学科24名、介護福祉学科37名（内留学生10名）、計61名となった。

(3) 運営管理

年間を通じて運営委員会、職員会議、自己評価委員会、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、部科長会議を開催した。危機管理としては、9月に避難訓練及び消化訓練を実施した。また、職員及び学生へ健康面、安全面等の注意喚起を促した。飯能警察署員を呼んでの交通安全講座は中止となった。入学式、

卒業式は新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、次第を縮小し飯能市民会館にて執り行った。

(4) 地域貢献

芳愛接骨院開院、学校施設の開放、高体連柔道大会救護活動への参加、飯能市・飯能警察署・飯能消防署等との連携協力を行った。

(5) 附帯事業

芳愛接骨院の運営。

以上